



鶴﨑神社

〒 701-0304 早島町早島 2220 TEL 482-0097 FAX 697-6067

URL http://turusaki2.web.fc2. com/

参集殿地鎮祭(平成31年3月3日)

言う意味です。 いと思います。 設に向けて

0)

事が出来るとの結論に達しました。 事を指します。 的に考慮すると参集殿の建設が最も効果的であ 朽化と地盤沈下よる職舎の破損、 が出ておりました参拝者トイレの拡張、 立する参集殿は、 祈祷や会議など多目的に使用する神社の施設 意書」の通り、数年前から幹事会に於いて要望 設した建物となります。 参集殿とはどんな建物?と疑問を持つ方も多 今回、 対応を行うための部屋、 昨年十一月にお配り致しました参集殿建設「趣 そこで全ての無駄を省き、 将来の神社の景観改善にも大きく寄与する 結婚式や霊祭、 氏子の皆様にご奉納金をお願 授与所、 簡単に言うと人が集まる施設と 応接室、 祈祷所を兼ねた会議室、 般的には結婚式を始めとする 極寒暑時の祈祷施設を総合 皆様方にお願い致します 椅子式会議室への要 内トイレ、 最小限の費用 参拝者や来客 倉庫を 職舎、

申し上げる次第でございます。 解とご協力を頂き、ご支援を賜りますよう懇 事となった次第でございます。 ご多端の事とは存じますが、何卒本事業にご理 皆様方におかれましては新年度に入り、

納金を抑える努力を行い、この度建設を行う

大限の智恵を絞り、

安原伝兵衛物語

皆 れていた。 かつては銀の鏈(鉱石)を産出した掘った古い廃れ間歩に取り組んだ。 踏 子 け け れど地下の が少しでも有利な場所を探すの は六人、 あ み しく山 出した。 つ 伝兵衛は尾紅孫右衛門たちが た。 た。お互い敵愾心をぶつ意欲に燃えて第一歩を 伝兵衛 師になる 湧水に負けて放置さ だけ のを夢見る掘 は 違 つった。

「間歩に溜まっている水さえ汲み出せば、かつて銀を掘り出していた間歩じゃけん、再び役立つけんなこと、伝兵衛は熱心に自説を訴えたが、「廃れ間歩が復活するなんて夢みていな話だぞ」と誰もが

だった。 一だった。伝兵衛にはそれで十分 く見守ってくれたのが孫太夫と孫 た。これまでも何かにつけて温か 唯ひとり賛成したのが孫一だっ

い求め、長い樋を次々と作ってはいる。途中から地下水が行手を遮った。 先駆者の無念が伝わってくる。 た 発駆者の無念が伝わってくる。 かん のとつひとつ鏨の痕跡が残って

なかった。 り方を貫き通すしか、 ないから、 てた。伝兵衛は目端の利くみ人足になったげな」と、 み人足になったげな」と、囃した中は「伝兵衛は掘子をやめて水扱 ると少しづつ本業の採鉱ができた。 奥 水との根競べだった。 水を樋を使って排水した。 から間歩の外 步 できないものかを考え続けた。 0 中で水瓶と樋を組み合 ただ、 冷笑されても自 へと順々 もっと効率よく П 他に方法は 0 排水でき 、男では 分の 水瓶の 悪 わ 17 せ、 Ŕ 連



この 結局、 闘 を迎えた途端、 わりそうにない。 間、 も続 臣 秀吉の死まで七年も続 秀吉 伝兵衛 た。 0 始め 慶長の役が始まり、 伝兵衛 0 廃れ間 文禄 た朝 の役 の湧 鮮 歩復活の 征 水との び終戦 伐 いた。 も終

それから数日後のことである。大きく、それが根源だった。がら、信仰に支えられている点が闘いは、本人の忍耐もさることな

12

かった。 印の布力 すると宣言したものだった。 及ぶもの 終わりわ 日、石見銀 慶長五年 (一六〇〇) 九月二十五 それから数日後のことであ 告が出た。 その禁制は近隣十ケ村に で、 ずか十日しか経っていな Щ 要は徳川 [と隣村に徳川家康 関ケ原の合戦 この天領: 地 が 朱 に

えた。
十月、石見銀山没収のため、大中月、石見銀山没収のため、大

奉行に就任した。 久保長安は徳川家の初代石見銀山翌年、慶長六年(一六〇一)大

かった。 大久保長安は並の行政官ではな

世術と鉱・後、徳川で 豆金山 保長安は に係わる事に特別の想いがあっ 技術を習得 斐武 n Щ で を使 に目 業 氏 ている。 Ш 77 田 こしてい 知識 つの に仕えると、 績 氏 をつけ、 を上 0 間 猿 で、 た。 にか だから石見銀 げ 佐渡 師 水索して 徳川 · 金 山 だっ 早くかっ 金 持前 田氏滅 た大久 配 の採 Щ いた 下 0 0 5 伊 処よ亡 掘 Щ

> 任した。 大久保長安は野心を燃やして

中の間 がある。 た。 くて失望した。 ど長安の期待した意見は出 \Diamond 加 には廃 長安の 意見を聴く機会を作った。 佐渡金山で試み成功した実績 !歩の手厚い保護を求めるな 早速、 れ間歩の 考えでは、 地役人と山 の復活が 銀 運 上 番だっ 師 てこな 高 を集 0 動

味を持った。な変わり者の山師がいると聞き興ある地役人から、若いけど頑固

うか」地役人は首を傾げた。す。そんな男が役に立ちますかどみ伝兵衛などと悪口を言っていまれた変人です。皆が女嫌いの水汲

て来るよう命じた。 大久保長安は地役人にすぐ連れ「その山師に会ってみたい」

うな男じゃないか) 思っていたが、若くて女が惚れそ初老の金壷眼のいかつい男かとか。女嫌いの頑固者というから、か。女嫌いのがあるいかのがある。

素振りがない。それも気に入った。美男美女が好みだ。それに伝兵衛人ってしまった。長安は従来から長安は一目見て伝兵衛を気に

本殿今建てたら2億円!

「参拝はまず手水舎で手を洗いま 出身の児島」

神門 明をして回りました。 まるという意味ですが、『ここから みそぎ、 人ば お宮ですよ』という境です 時間半にわたり熱のこもった説 か めての鶴﨑神社 居をくぐります。 から れ、 かりで終始質問が絶えません わずか4人でしたが、 成30年11月3日の文化 説明の お清めですね。 太田浩司宮司が境内の随 本殿まで案内 手、 要旨は次の通りで 左手の 「神社教室」が ニワトリが止 参加した氏 しながら、 その前に 順です。 熱心な 0 目 ŧ

[随神門]

青島(中国)で、 昭和10 南隆さんが設計、 n 門の向かって右に「矢大神」、 ている。 「左大神」という随神 総尾州ヒノ 年から約 内務省神社 で一旗揚げた早島 全く節がなく吉備津 派。 キの檜皮葺きで、 年がかりで建て 京都の宮大工 建築費のうち 局の技師角 :が安置 左 が 3

立つ。(*現在の貨幣価値では一千万円)出身の児島熊吉さんが2000円

[参道~本殿の秘密]

時代、 ربا ج 者は神様の正面 図 は神様の正面「正中」は際的にやや左に曲げてある。 随 う意味。 神門 両 脇 から本殿への参道は、 0) 拝 垣 根は明治 殿前の石段は江戸 は避ける 代 参拝 意

[狛犬]

り、 形の一 同じ門番の役割 沖縄の である。 社は拝殿前 17 大坂型) 3 つ の 3つの形式すべてがそろって ③玉を抱く型 対が置かれる。 対が置かれる。、阿吽の呼吸、口を開けた阿形と閉じた吽 シー 元来は鎮子の 形 ②しっぽが立つ型 サー の石段脇などに5対あ 式がある。 (伝説 (尾道型)。 (重し)であり、 1 の獣)座っ 像) (出雲 当 神 た型

拜礼」

後、肩幅に広げて打つ。前に右手を一関節手前にずらした「礼二拍手一礼。柏手は打つ直

履き物

為。 スを神様に向けることを避ける行を変えて揃え直さなくてよい。お のように向き とが正解。日常生活のように向き はのように向き

攻め

[拝殿前のしめ縄

向かって右が「元」、左が「末」向かって右が「元」、左が皇后陛下だは右が天皇陛下、左が皇后陛下だが上座という解釈で、高御座(玉座)はおが天皇陛下、左が皇后陛下だが上座という解釈で、高御座(玉座)が、 玉座以外ではその逆である。

[本殿]

年の建 険会社) 柴田 に比べても大きい方である。 ければ県重要文化財」 すごい④土台部 り物は最少、 的なひさしが4片も出ている③彫 は使えない が高いのが特徴。「もう100年古 大工が4年かけて造った。 や阿智神社など県南の主な神社 江戸 氏)、「今建てたら2億円」 築。本島(香川 中 という立派な本殿。 期、 菊の御紋を使用②装飾 組み物のデザインが 享 分の白漆喰の亀腹 保 4 (歴史学者・ 県 1 7 1 9 足高神 の塩飽 ① 今

(70)=高須賀=は「神社ファン参加者の一人、光畑久仁子さん



熱心に見学して回る参加者

で月次祭 心な要望があり、 章化してもらえないか」という 報に載るまで待てない。 から翌日、編集子に電話があり ます」と苦笑いしていました。 とPR不足でした。 に太田宮司は「この新企画、ちょ したが、 せんでした」と成果を話し ることと、 しています。 余談があります。 参加者が少なかったこと (毎月1日) 履き物の一件は知りま 柏手を肩幅 早速対応しま 参加者の 次回は工夫し によくお メモを文 ていま に広 人 社 つ げ

、鶴﨑神社総代・佐藤豊行があり、早速対応しまし

取材

b, 台所を取り込み新参拝者トイレを 事になったため、 基礎部分が境内から約3以下がる 分に併設する予定と致しておりま プの設置が余儀なくされる事によ 参拝者トイレの拡張を盛り込んで 性の回避と建設費を抑えるため 土足のまま入る事が出来る新し 現社務所の事務室の一 幼児や高齢者に危険が及ぶ可 集殿建設事業の 趣意書では参集殿の基礎部 その後の詳細設計により 二月十六日に完成し 階段又はスロ 環として 部及び

トイレ ŧ は男女別となり 8 男性 男女別の入口 用

女性用トイレ

女性用は新たに二基設置:は小便器を一基増やして 基増やして計三基。 致しまし

だけます。 夜間 おりませんの 社務所入り 1や早朝の参拝でもご利用いた \Box 参拝者ト に鍵 は - イレは 掛 けて

向かって突き進む猪

支を境内に展示しました。

毎年恒例となっているイ草の干

今年のイ草の干支

今年のテーマは「新しい

御

代に

蔵 倉庫・参拝者 トイレを解体

参拝者トイレ及び老朽化した蔵を 月に解体、 集殿 建設 撤去しました。 に障害となる倉庫



手作業で解体される倉庫

	総代の
111111111111111111111111111111111111111	異動
1 717	(平成3年4月1日付)



早高南			
新任	退任		
了。 小原 惠	倉敷市早高一七八 佐藤 史男		

正月の参拝者を迎えたイ草のイノシシ

祈祷/出張祭は

をお願いします。



暦

ご希望の方は前もってご連絡下

宅神祭・結婚式・神葬祭等

五月十八日 (土) 八幡神社春季大祭 [午後七時

月十九日(日)[午前 鶴﨑神社春季大祭 供膳祭 (露店あり) 十時

Ŧi.

日 (午前九時) 夏越祭【輪くぐり祭】 (露店あり) 月次祭

七月三十日(火)[午後五時

早高北

退任

倉敷市早高

刀

新任

崎

博明

倉敷市早高四

1

Ŧi.

毎

月